

魚病・ワクチンの講習会を実施しました

令和8年9月10日 水産技術開発センター

令和8年9月9日に垂水市にて、養殖事業者・水産用医薬品販売事業者向けに魚病・ワクチンに関する講習会を開催しました（26名）。

講習会では、毎年多く発生している魚病の予防や飼育管理徹底の重要性、養殖魚を健康に保つことでワクチンの効果が高まることを重点的に取り上げて説明しました。

今後も魚病・ワクチンに関する講習会・勉強会を随時開催する予定ですので、ご希望の方はご連絡ください。



講習会風景

ワクチンの有効な使用

○養殖魚の健康を保つ

養殖魚が健康でなければ
十分な免疫効果は得られない！！

養殖魚へのストレスを極力排除するため
適正な飼育管理を継続する！！

○計画的なワクチン投与

対象となる病気の発生状況を的確に把握
発生リスクが高まる前に余裕を持って投与

免疫効果が得られるまで1週間程度必要
病気発生後では十分な効果は得られない！！

○ワクチン接種部位

○腹腔内注射（ブリ属魚類、マダイ、シマアジ、ヒラメ等）

腹鰭から肛門に至る下腹部
腹鰭を体側に密着させた時先端部が体側に接する付近

○筋肉内注射（マダイ）

側線よりやや上方、背鰭中央真下の筋肉



講習会資料